学術集会
ご案内

第19回
日本生殖内分泌学会学術集会を迎えて

会長
北脇　城
（京都府立医科大学
産婦人科学教室
教授）

この度，第19回日本生殖内分泌学会学術集会を平成27年１月10日（土）に千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市新千里東町１－４－２）において開催させていただきます．本会の学術集会を担当させていただくことを大変光栄に存じます．例年，本学術集会は12月上旬に開催されていますが，今回は翌年の１月開催となりました．これは日本内分泌学会の分科会の一部の開催日程変更による影響です．

本学術集会は，生殖内分泌に携わる産婦人科，泌尿器科，内科，小児科などの臨床系研究者と基礎研究者が一堂に会して情報交換をする学際的な場です．関連学会である日本内分泌学会や日本生殖医学会のようなマンモス学会に比べて本学会は小規模ではありますが，そのことがむしろ先端医学のエッセンスをコンパクトに吸収しやすいという利点があります．その意味も含めてメインテーマを「生殖内分泌学～基礎から臨床への架け橋」とさせていただきました．

招請講演には京都大学の斎藤通紀教授をお招きし，生殖細胞発生過程の試験管内再構成に関する最新の成果をお話しいただきます．教室講演では生殖再生医学アカデミア理事長の森　崇英先生に多嚢胞性卵巣症候群に関する研究の集大成をお話しいただきます．シンポジウム「基礎から臨床への架け橋」では，本学会をはじめ関連学会でご活躍中の河村和弘先生（聖マリアンナ医科大学），宮戸真美先生（国立成育医療研究センター研究所），水谷哲也先生（福井大学），丸山哲夫先生（慶應義塾大学）の４先生に最新の研究成果をお話しいただきます．さらに，40題の中身の濃い一般演題もご登録いただきました．正に最新の知見を凝縮した構成になっております．

多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております．

第19回日本生殖内分泌学会学術集会　会長
北　脇　　城
京都府立医科大学産婦人科学教室